

質問事項に対する回答書④

(件名) 北陸自動車道 R5上越管内舗装補修工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	1月30日	特記仕様書		15-1 建設副産物の活用について	コンクリート塊(有筋、無筋、2次製品)の数量が、約65m ³ とありますが、工種ごと又は種別ごとの数量をご教示下さい。	設計図(本線編)等を基に算出ください。
2	1月31日	特記仕様書		21-16 コンクリート舗装版補修工について	既設コンクリート舗装面を路面切削機により厚さ5cmおよび3cmで切削するとありますが、当該工種の積算基準がありません。どちらの積算基準を採用すればよろしいでしょうか。また、路面切削工(アスファルト舗装)と比較して施工能力が低下しますが、別途協議事項と考えてよろしいでしょうか。ご教示下さい。	貴社の施工計画に基づき費用の計上をしてください。 現地条件に伴い変更が生じる場合は監督員と別途協議となります。
3	2月1日	特記仕様書		21-4-2 既設防水材の処理について	特記P23に「注1)残アスファルト合材等の取り除きで発生した既設防水材の処理に要する費用については関連する単価表の項目の単価に含む」とありますが、最終処分場への処分量は特記15-1(1)記載の約180tと考えてよろしいですか。また、処分費は公表されますか。ご教示下さい。	最終処分場への処分量はお考えの通りです。 処分費の公表はいたしません。